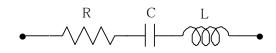
<インピーダンス>

[例1] 図の回路のインピーダンスは 60サイクルでいくらか。

ここで $R=100[\Omega]$ $C = 20[\mu F]$ L=0.1[H] とする。



上の図の作成方法

抵抗、コンデンサ、コイルの部品をそれぞれ コピーして貼り付けます。これらの部品は 大きさや位置を自由に変えられるので 適当な大きさにして、配置します。 作図モードに切り換えて、点や線を補います。

「解答]

周波数をfで示すと f=60[Hz]

角周波数をωとすると ω=2πf

回路の複素インピーダンスは

$$\overline{Z} = R + \frac{1}{i \omega C} + i \omega L$$

 \overline{Z} =(100 - 94.93*i*)[Ω]

√複素数でも単位計算OK! 絶対値をとって結果を出力

 $|\overline{Z}| = 137.88[\Omega]$

[解答]

インピーダンスは次式であたえられる。

$$\sqrt{R^2 + \left(\omega L - \frac{1}{\omega C}\right)^2}$$

これは

$$\omega L = \frac{1}{\omega C}$$

 $\omega L = \frac{1}{\omega C}$ (1) のとき、最小となる。

「例2] 上の回路において、インピーダンスを最小にする周波数はいくらか

式(1)を満たす ω を ω_0 とすれば $\omega_0 = \sqrt{\frac{1}{10}}$ \leftarrow 平方根の式でも単位付き計算0K

$$\omega_0 = \sqrt{\frac{1}{LC}}$$

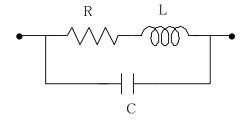
求める周波数は $\frac{\omega_0}{2\pi}$ =112.54[Hz]

$$\frac{\omega_0}{2\pi}$$
=112.54[Hz]

「例3] 右図の回路におけるインピーダンスは 60サイクルでいくらか。

> ここで $R=100[\Omega]$ $C = 20 \left[\mu F \right]$

> > L=0.1[H] とする。



「解答]

周波数をfで示すと f=60[Hz]

角周波数ω とすると ω = 2πf

回路の複素インピーダンスは次式で与えられる。

 \overline{Z} = $(92.52 - 44.80i) [\Omega]$

 $|\overline{Z}| = 102.80[\Omega]$

$$\overline{Z} = \frac{1}{\frac{1}{R + i\omega L} + \frac{1}{\frac{1}{i\omega C}}}$$
 (2)